

施設概要

(令和 7 年 3 月 3 1 日現在)

施設名		開館時間			
西白井コミュニティプラザ		午前 9 時～午後 9 時			
所在地	〒270-1408 白井市西白井2-16-1	併設施設	なし		
TEL	047-497-5771	FAX	なし		
メール	mail@nishishiroi.jp				
休館日	火曜日、祝日・国民の休日、 12月29日～翌年1月3日	駐車場	30台（内、障害者専用2台 縦列スペース14台）		
職員構成 R6年4月現在	センター長 1名 （常勤）事務職 1名 （非常勤）事務職 3名 合計 5名				
貸出施設	1時間あたりの施設利用料（社会教育認定団体は2分の1）				
	施設名		定員		
	9:00～21:00		付帯設備		
	調理室	会議利用	24名	350円	机4台、椅子24脚、ホワイトボード ※会議利用の場合は、調理器具一式および水道ガスは使用不可
		調理利用		720円	机4台、椅子24脚、調理用具・食器一式 炊飯器、スチームオーブンレンジ、可動式キッチンカウンター、ホワイトボード
	和室1		18名	250円	※各部屋 座卓6台、座布団24枚、座椅子5脚 ※和室1のみ 舞台（調光機能付照明有）
	和室2		18名	250円	
	会議室1		30名	350円	※各部屋 机10台、椅子30脚 ※会議室1 大型スクリーン ※会議室1・3 備付ホワイトボード 可動式演台 1台
	会議室2		30名	350円	
	会議室3		30名	350円	
※営利目的使用の場合は、上記料金の3倍となります。					
その他施設	子ども室（定員16名）、2色刷印刷機（ティールグリーン・ブラック） 多目的ロビー（円卓3台、長机7台＜作業台1台含む＞／椅子25脚） ※平日のみ小学生までと中学生以上で区画を分けています				
貸し出し 可能備品	【館内限定】 TV、プロジェクター、DVDプレーヤー、HDMIケーブル、延長コード、CDラジオ、 ワイヤレスマイク2本&アンプ、可動式ホワイトボード、ホワイトボードマーカー、Wi-Fi、 卓球台（会議室）、スポーツミラー（会議室・和室）、麻雀卓（会議室）、着付用トルソー				

令和6年度 公民館等団体別利用状況 (西白井コミュニティプラザ)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	12	109	57	493	13	71	8	76	41	344	45	175	176	1,268
5	9	88	53	444	11	59	9	83	45	424	22	67	149	1,165
6	11	109	54	428	12	63	8	75	46	401	27	94	158	1,170
7	10	94	55	494	12	65	9	78	38	382	34	130	158	1,243
8	13	117	51	421	8	45	8	62	46	388	26	83	152	1,116
9	10	92	57	477	10	62	8	64	52	441	30	110	167	1,246
10	13	119	62	474	11	71	9	77	55	437	24	91	174	1,269
11	17	159	51	530	12	75	8	72	38	277	21	73	147	1,186
12	23	199	59	603	14	80	8	71	41	332	31	186	176	1,471
1	15	111	52	466	10	60	8	65	37	1,139	25	109	147	1,950
2	18	161	56	836	12	102	8	76	41	393	36	170	171	1,738
3	16	118	63	593	15	85	7	63	39	337	49	329	189	1,525
合計	167	1,476	670	6,259	140	838	98	862	519	5,295	370	1,617	1,964	16,347

☐ の合計が必ず一緒になるように

各部屋の年間利用率を記入する欄を追加しましたので忘れずに記入してください。
年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和6年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
会議室1・2・3	22	1,087	3.6
会議室1・2	60	773	4
会議室2・3	58	749	5
会議室1	601	4,495	35.5
会議室2	227	1,431	17.9
会議室3	386	2,423	27.2
和室1・2	57	850	4.4
和室1	316	1,680	17.4
和室2	89	437	7.1
調理室	148	2,422	13.2
合 計	1,964	16,347	

令和6年度西白井コミュニティプラザ 事業報告

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・“シビックプライド”の醸成を推進するために“助け合いの傍観者”ではなく“助け合いの当事者”になるようなコミュニティ形成を図ります。
- ・地域の各関連団体との連携を深め、相乗効果を最大限に引き出すしくみを創生し、市民サービスの向上を図ります。

(2) 令和6年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・大人のならいごとシリーズ～健康麻雀編～（初心者向け講座）
- ・やってみよう講座
- ・サークル応援団
- ・アロマ講座
- ・地域交流会～近隣自治会との合同イベント開催～

2 西白井コミュニティプラザ講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級講座名	回数	参加人数
市民相互の 交流や地域 コミュニティの推進	健康麻雀交流戦	1回	16人
	己書幸座～全3回～	3回	5人
	やってみよう講座～ヨガと玄米ベジごはん～	2回	12人
	おやこde工作～ポリマークレイ～	1回	7人
	おやこの料理教室	1回	9人
	大人のならいごとシリーズ～健康麻雀編～	22回	8人／回
	リズムdeあそぼう	1回	27人
	やってみよう講座～スクラップブック編～	1回	2人
	サークル応援団～雀の学校さん～	1回	7人
	スマホ教室	2回	11人
	アロマdeつくろ ～カレンデュラオイルでつくるハンドクリーム～	1回	7人
	書初め教室	2回	10人
	サークル応援団～レッツファンさん～	1回	11人
	発酵あんこdeばらっぱ饅頭 共催：NPO 法人 sketch 倶楽部	1回	18人

(2) 講座以外に行った事業

- ・ 部屋開放「囲碁・麻雀@和室」 水曜日限定の和室開放（全12回） 利用者0人
- ・ ハロウィンイベント～かぼちゃの重さ当てクイズ～ 応募者134人
- ・ 地域交流会「コミプラ冬のもちまつり」
共催：指定管理者 NPO 法人まちづくり西白井
協賛：西白井3丁目自治会、Net 西白井4丁目自治会、クレイドルガーデン西白井自治会
延べ800人
- ・ 中高生を対象とした自習室開放（毎開館日17～20時）登録者95人 延べ542人
- ・ 七次台小学校区地区社協との共催事業「子育ておしゃべり会」 延べ41人
- ・ 安心して過ごせる子ども達の居場所づくり「放課後倶楽部 ここいこ。」 延べ82人

(3) 情報の提供

- ・ コミプラかわら版の作成（毎月）
（「コミプラかわら版」を館内ロビーに掲示し、コミプラホームページにも掲載）
- ・ 広報しろいへの開催事業情報の掲載
- ・ コミプラホームページへの掲載
- ・ SNS（しろいまっち、X、Instagram）を活用し、より広域への周知を徹底
- ・ 近隣小学校へのチラシ配付依頼および近隣自治会へのチラシ回覧依頼

(4) 施設の提供

- ・ 利用者の平等性を重んじ、公平な貸館業務の徹底
- ・ 利用者からの意見・要望を可能な限り反映し、利用しやすい施設／設備の提供
- ・ 館内外の環境美化に努め、居心地の良い空間づくり
- ・ 様々な問合せに対し、適切な部署への的確に繋げるようネットワークの確立を継続

(5) 「with コロナ」「after コロナ」時代に向けた対応

- ・ 入口検温機は撤去。消毒液については、引き続き設置 検温や手指の消毒協力依頼は撤廃
- ・ 利用中の換気については、ロスナイの使用を推奨しつつ、団体の判断に委ねた

3 事業の評価

(1) 分野別方針

対象	評価
市民相互の交流 や地域コミュニティの推進	×未就学児とその保護者を対象とする講座の集客率が低く、参加者がゼロの講座もあった。これは当館に限らず、市内センター全体での課題とされている点ではあるが、真の需要を追求、マンネリ化していないかなど講座内容を再考し、周知方法についても工夫が必要と考える。

	○健康麻雀講座はとても人気が高く、募集枠がすぐに埋まってしまい、参加希望者の要望に沿うことができなかった。また、募集時に「すべての講座に参加できる方」と明記して募ったが、全10回の中で欠席をされる方もおり、4人でプレイが成立する麻雀の特性に悩む場面もあった。ただ、午前と午後を設定したことで、参加者が行き来でき、互いの空き枠を補い合うことができるだけでなく、2度受講できるという利点もあり、喜ばれたことは想定外の副産物となった。 ◎営利団体・非営利団体問わず、参加人数が減少傾向にある団体の活動をサポートする目的として立ち上げた「やってみよう講座」および「サークル応援団」の認知度が上がってきており、ぜひ活用したいという声を積極的にいただく機会が増えた。費用の負担をすることなく仲間を募れる手段として大いに活用していただき、今後も積極的に開催することで、団体のみならず、地域の活性化に繋げていきたい。
--	--

(2) 令和6年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
① 「大人のならいごとシリーズ～健康麻雀編～」 昨年度、大変な好評をいただいた健康麻雀講座（初心者向け）を今年度も実施した。指定管理者の法人会員が講師を務めることで、講師料の大幅な削減を図り、かつ、柔軟な対応ができる体制を整え取り組んだ。講座終了後には新たなサークルも立ち上がり、今もなお定期的な活動を行っている。また、当該講座から立ち上がったサークルを対象にした交流戦を開催し、1位から3位までの成績優秀チームには当館の無料利用券を進呈し、大変喜ばれた。これを機にサークル間交流が深まり、活動時のメンバー補填を行うこともあるようで、交流の輪が着実に広がっていることを感じている。 ② 「地域交流会～コミプラ冬のもちまつり～」 かねてより地域コミュニティの核になることを目標に掲げてきたこともあり、今年度はセンター全体を最大限に活用したイベントを近隣自治会と開催することにチャレンジした。主たるイベントは「餅つき体験」とし、人員面や衛生面などを考慮し、此度はメディアでも取り上げられているプロを招き実施した。協賛いただいた自治会には部屋割りを行い、それぞれの部屋で出し物をしていただき、売り上げについては全額自治会の収益としていただく代わりに、少しでもお子さんが参加しやすい価格設定にさせていただくよう協力を求めた。また、センター初の試みとしてキッチンカーを2台招き、イベントに花を添えてもらった。昨年の「こどもまつり」では食べ物が少ないというご意見があったため、今回は多めに準備してみたが、予想の倍近い約800人が来場され、早々に売り切れてしまう事態となったことは次への課題である。立地的に徒歩圏住民が対象となる傾向が強いが、それでもこれだけの人が集まることから、地域の方々はこのような大規模なイベントを求めていることが立証された。

事業活動

事業名	健康麻雀交流戦		
対象	コミブラの麻雀講座を受けられた方のみ。		
参加人数	16人		
事業の課題と目標	事業の課題 - 健康麻雀講座で勉強したことを発揮できる場を提供する。 - サークル同士で交流できる場を提供する。 目標 - 健康麻雀を脳トレとして、高齢者の健康維持の一助になるよう努める。 - 近隣の方々の交流の場となる。 - 習ったことを発揮してもらう。		
期 間	令和6年5月12日（日）	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室2、3		
事業内容	コミブラの麻雀講座に参加された方のみを招待した、健康麻雀交流戦。		
事業参加者への配慮等	- 交流戦のルールは講座内容と同じ設定にした。 - 会議室利用無料券を景品として贈呈し、利用を促進した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	- 麻雀を知らなかった方が交流戦に出ることで、実際に麻雀を打てるようになったことを実感してもらったことができた。 - サークル化した麻雀サークルさんが、無料券を大変喜んで下さり、無料券ご利用後も継続利用頂いている。		
備考	- 麻雀には場所やメンバーによって無数のルールが存在するが、今回に関しては講座内容と同じルールで行った。 - チーム戦にしたことで団結力が高まった。		

事業名	己書幸座～全3回～		
対象	市内在住・在勤		
参加人数	5人		
事業の課題と目標	事業の課題 - 書を純粋に楽しんでもらう。 - 自身の書を好きになってもらう。 目標 - 書を通して、何でも正解という笑笑道場で自己肯定感の向上に努めてもらう。 - 人気講座をコミブラで行うことでコミブラの周知や利用促進、活性化に繋げる事。 - 笑笑道場の新規メンバー獲得と周知活動。		
期 間	令和6年6月8日（土）、7月13日（土）、8月3日（土）	回 数	3回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室1		
事業内容	己書講座 第1回目：基礎練習 第2回目：暑中見舞い状 第3回目：夏のお題		
事業参加者への配慮等	- 全3回にすることで、体験幸座とは違う、己書を肌で感じてもらえるようにした。 - 連続して講座を行うことで、参加者同士が仲良くなった。		
事業の成果（課題や目標に対して）	- ほぼ参加者全員楽しく書を楽しんで頂けた。 - 笑笑道場への入会希望者が出た。		
備考	- 書き順や上手い下手など気にせず、書自体を楽しんでももらえる幸座になった。 - 準備が不足していた点については、次回の講座に活かしたいと思う。		

事業名	やってみよう講座～ヨガと玄米ベジごはん～		
対象	市内在住・在勤		
参加人数	12人		
事業の課題と目標	事業の課題 ・ヨガの無料体験講座の実施。 ・マクロビオティック教室の開催。 ・陰陽を生活に取り入れてもらう際のアドバイスをを行う。 目標 ・ヨガ教室の円滑な運営のサポート。 ・ヨガと料理教室を組み合わせた講座を行い、中からも外からもきれいになってもらう。		
期間	令和6年6月13日（木）、15日（土）	回数	2回
場所	西白井コミュニティプラザ 和室、調理室		
事業内容	1回目：ヨガの無料体験講座。 2回目：ヨガと調理を取り入れた講座。 ヨガや食事を通して陰陽を学んでもらえる講座。		
事業参加者への配慮等	・部屋移動がスムーズに行えるようスタッフが補助した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・陰陽にたくさん触れることができる講座となった。 ・生徒が一人教室に入会した。		
備考	・玄米の炊き方について興味を持っている方が多数いた。		

事業名	おやこde工作～ポリマークレイ～		
対象	小学生以上のお子さまと保護者		
参加人数	7人（大人3人、子ども4人）		
事業の課題と目標	事業の課題 ・物づくりを通して、コミュニケーションを取れる場の提供。 ・家ではなかなか作る事の出来ない物を作製する。 目標 ・コミブラの周知や利用促進、活性化に繋げる事。 ・親子で制作を楽しんでもらう。 ・同じ子育て世代の親子とコミュニケーションをとってもらう。		
期間	令和6年8月4日（日）	回数	1回
場所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業内容	親子でポリマークレイを使用し、スプーンとフォークをデザインしてもらう。		
事業参加者への配慮等	・子育てボランティアに依頼をかけ、乳幼児を預かってもらう環境作りをした。 ・焼く前のポリマークレイを練る作業が小さい子どもには難しかったため、コミブラのスタッフがお手伝いをした。 ・講師の補助としてコミブラスタッフが参加した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・こどもの夏休みの思い出に寄与することができた。		
備考	・頻繁に親子のコミュニケーションを取る様子が伺えた。 ・子供も大人も作製を大いに楽しんでもらうことができた。		

事業名	おやこの料理教室		
対象	4～6歳の未就学児とその保護者(保護者1人につき、未就学児2人まで)		
参加人数	9人(大人4人、子ども5人)		
事業の課題と目標 課題	・食に意識を向けてもらうため、親子で調理に参加してもらう。 ・子どもに食に興味を持ってもらいたい親が多いため、そのきっかけとなる講座企画。 ・参加者を親子とし、目的を同じくする利用者の参加を促す。		
目標	・コミプラの周知や利用促進、活性化。 ・食生活の改善に繋げる。 ・同じ世代の子どもを持つ親同士に交流の機会を持ってもらう。		
期 間	令和6年8月7日(水)	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室、和室2		
事業内容	白井市食生活改善推進員の方々の指導を受けながら、親子で調理する。 調理内容：おにぎり、カリポリサラダ、お星さまのスープ		
事業参加者への配慮等	・参加者の子どもの年齢を考えると、さらに小さい兄弟がいる可能性があるため、保育ボランティアに協力を依頼した。 ・参加者の親が、一緒に参加する子どもにだけ注意を払えばよい環境づくりを行った。		
事業の成果(課題や目標に対して)	・普段野菜を食べない子どもが、食に興味を持ち、食べることが出来るようになった。		
備考	・当初参加する予定だった未就学児が参加することが出来なくなったため、代わりに小学生の兄弟を参加させてもよいかとの相談があった。キャンセルすると最少催行人数に満たなくなってしまうことから、健康課に相談。参加可能となった。そのため、他の参加者にも連絡し、兄弟の小学生がいるか、そのお子さんが参加したいかどうかを確認。参加したいようであれば参加できるようにしたことを伝えた。そのため、追加で2名の小学生が参加した。		

事業名	大人のならいごシリーズ～健康麻雀編～		
対象	市内在住・在勤の大人		
参加人数	8人/回		
事業の課題と目標 課題	・楽しい雰囲気の話作り。 ・何度か足を運んでもらい、コミプラの雰囲気になじんでもらうこと。 ・初級講座の開設。		
目標	・コミプラの周知や利用促進、活性化に繋げる事。 ・麻雀サークルの立ち上げ。 ・高齢者の脳トレとして活用してもらおう。 ・高齢者の居場所になる。		
期 間	令和6年9月1日(日)～11月24日(日)	回 数	22回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室3		
事業内容	麻雀の初級講座 座学と実技両方行う。		
事業参加者への配慮等	・全く麻雀をしたことがない方でも麻雀ができるようにするため、座学も実技も両方盛り込み、分かりやすい講座作りを心掛けた。 ・勉強したことをすぐに実践することができるよう環境づくりをした。 ・講師だけではなく職員も常に参加者に目を配り、質問しやすい雰囲気づくりを心掛けた。取りこぼしなしを目指した。		
事業の成果(課題や目標に対して)	・利用者同士が講座を通して仲良くなり、講座終了後にも継続してできる麻雀仲間となった。 ・こんなに麻雀が考えられるものだとは知らなかった、脳トレになるというお声を多数いただいた。		
備考	・必ず全10回出席できる方という条件だったが、実際講座が始まると、出席できない人も出てきたが、その方の穴埋めを別の時間帯の講座参加者で穴埋めすることができた。		

事業名	リズムdeあそぼう		
対象	0歳からの子どもと保護者		
参加人数	27人（大人20人、子ども7人）		
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・乳幼児が活動しやすい午前中でのイベントの時間設定。 ・同世代の子どもを持つ親同士がコミュニケーションを取りやすい環境作り。 目 標 ・子供向けイベントの開催。 ・コミプラの周知や利用促進、活性化に繋げる事。 ・イベントの少ない西白井地区の活性化。 ・子育て世代の親同士のコミュニケーションの場となる。 ・子連れ世代の居場所となる。		
期 間	令和6年9月11日	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室1・2・3		
事業内容	乳幼児向けイベント 内容：教育番組のような、乳幼児向けの音楽イベント		
事業参加者への配慮等	・乳幼児が好む曲の選択。 ・他館や保育園へのチラシの掲示依頼。 ・バルーンなどを入口に飾り、非日常の演出。 ・当日受付も可能にした。 ・公演時間を子どもの集客力が続く20分くらいを目安に設定した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・保育園のチラシを見た方が来館した。		
備考	・当日キャンセル 1組 ・パフォーマーさんより対象年齢が0歳からとのことだったが、イベントの内容的に2、3歳くらいから5、6歳くらいまでを対象にすると良いと思った。		

事業名	部屋開放『囲碁・麻雀@和室』		
対象	一般		
参加人数	自由参加		
事業の課題と目標	事業の課題と目標 - 囲碁や麻雀など特異なものや興味があるものを通じて、友達を作ってもらう。 - 近隣の方より頂いた囲碁セット、麻雀セットを活用する。 目標 - コミブラの周知や利用促進、活性化に繋げる事。 - シニア世代の居場所となる。 - 仲間を見つけることができる場所となる。 - 何かコミブラの為にになりたいという近隣の方の要望に応える。		
期 間	令和6年10月2日（水）～12月18日（水）	回 数	12回
場 所	西白井コミュニティプラザ 和室2		
事業内容	和室を無料開放する。囲碁盤・麻雀卓を設置し、来館者に無料で貸し出す。 憩いの場としての提供		
事業参加者への配慮等	開放時間に合わせて麻雀卓、囲碁盤などをセットし、気持ちよく使って頂けるよう配慮した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	参加者がいなかった。		
備考			

事業名	ハロウィンイベント～かぼちゃの重さ当てクイズ～		
対象	一般		
参加人数	134人		
事業の課題と目標 課題	事業の課題と目標 ・ハロウィンをイメージできるような珍しい大きなかぼちゃを購入し、クイズに使用する。 ・季節を感じるイベントやプレゼントを準備する。 ・老若男女問わず参加できるクイズイベントの開催。 目標 ・コミブラの周知や利用促進、活性化に繋げる事。 ・来館者に季節を感じてもらい、来館者同士や来館者とスタッフ間でコミュニケーションがうまれる場にする。 ・イベントを通じて四季を感じてもらおう。		
期間	令和6年10月19日（土）～10月31日（土）		
回数	1回		
場所	西白井コミュニティプラザ ロビー		
事業内容	西白井コミュニティプラザのロビーに大きいハロウィンかぼちゃを飾り、重さを当ててもらおう。ピタリ賞の方にはお部屋の1時間利用券とお菓子をプレゼントする。		
事業参加者への配慮等	・応募用紙に本名を書かなくても良いように配慮した。 ・季節に合わせたイベントを行うことで、来館者に四季を感じてもらおう。 ・プレゼントのお菓子の詰め合わせを入れる容器をコミブラスタッフが作製した。コミブラの持つアットホームな雰囲気合うお菓子の入れ物で渡すことができた。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・かぼちゃを見た方々が、もうこんな時期ね～など、たくさんの四季を感じるお言葉が聞こえてきた。 ・活動帰りに目に留まることで、会話のきっかけになった印象。楽しそうに話している姿をよく見かけた。		
備考	・普段見かける事のあまりないハロウィンかぼちゃを購入し、来館者の方に見て頂く。喜んでもらう。 ・かぼちゃの到着を心待ちにしている来館者が多数いた。イベントを楽しみにしている方が多かった。 ・去年のイベントを知っている方が多かった印象。 ・衆議院議員選挙とイベントが重なり、より多くの方の目に止まった印象。		

事業名	やってみよう講座～スクラップブッキング編～		
対象	白井市内在住・在勤		
参加人数	2人		
事業の課題と目標 課題	事業の課題と目標 ・市民講師の起用。 ・募集人数を少なめに設定することで、市民講師が対応しやすい講座づくり。 ・初見の人がコミブラを利用する事へのハードルを下げる。 ・子連れの方も参加ができるように、託児ボランティアに依頼をかける。 目標 ・コミブラでのサークル活動や教室を開くための足掛かりになること。 ・地域の方たちと繋がりたい、地域のために何かしたいという市民の気持ちに寄り添う。		
期間	令和6年10月23日（水）		回数 1回
場所	西白井コミュニティプラザ 和室1		
事業内容	カラフルなペーパーを使用し、スクラップブッキングの講座を行う。 今回はハロウィンをテーマにした。		
事業参加者への配慮等	・託児ボランティアに依頼し、小さい子ども連れの保護者も参加できるようにした。 ・講座を行う場所を小さい子ども連れでも気兼ねなく参加できる和室に設定した。 ・少人数の講座に設定し、参加者と講師の距離が近く、いろんな会話や質問をすることができるよう配慮した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・託児ボランティアを利用する方の参加がなかったため、今回はキャンセルした。 ・参加者が幼稚園併設のお寺に住んでおり、そこで母親向けの講座を行ってくれる講師を探していることがわかった。今回コミブラで講師をしてくれた林さんがそのお寺で活動する機会を得た。市民の方同士をつなぐことができた。		
備考	・当日参加者 1人		

事業名	サークル応援団～雀の学校さん～		
対象	白井市在住・在勤		
参加人数	7人		
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・サークルに参加したいという方と参加してほしいという方たちを結び接点となる講座作り。 ・サークルの見学を公に募集することで、気軽に参加できる環境づくり。 ・参加を見合わせたいと思った時に、断りやすい環境づくり。 目標 ・地域の活性化 ・サークルが継続・活動しやすい環境作り。 ・近隣住民の方々の交流の場となる。 ・社会とつながりが途切れたお年寄りと交流を持つ場にする。 ・近隣のお年寄りに参加してもらうことで、サークル活動の後、一緒に帰ったりするなどしてコミブラだけで繋がるのではなく、生活に繋げる。		
期間	令和6年11月11日（月）	回数	1回
場所	西白井コミュニティプラザ 会議室3		
事業内容	当館で定期的にご利用頂いているサークル『雀の学校』のメンバー募集のお手伝い。		
事業参加者への配慮等			
・サークルさんのご希望により、シニアの初心者限定にした。（麻雀牌も触ったことがない方限定）			
・完全未経験者の中でも麻雀牌を触ったことがない方に重点を置き、初心者でも参加しやすい応募内容に設定した。			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・参加者7名中6名がサークルに加入することになった。			
・加入しなかった参加者も大変喜んでおり、また機会があったらぜひ来たいと喜んで退館された。			
備考			
・当日参加者 2名			
・経験者から参加希望のお電話を多数いただいた。条件次第ではお受けした。麻雀経験者の方で、定期的に麻雀をする場所がない方が多数いる印象。			

事業名	スマホ教室		
対象	制限なし		
参加人数	11人		
事業の課題と目標	事業の課題と目標 - 全くの初心者でも参加しやすい内容の講座設定。 - 分からない所を対面で直接教えてもらうことができる。 目標 - 高齢者世代のデジタルデバイス解消への一助になるような講座にする。 - シニア世代にスマートフォンを基礎を学んでもらう。 - シニア世代にスマートフォンの使用を促すことで、ネットを利用してコミュニケーションを取る方法や情報収集の仕方を学んでもらう。 - スマホのアプリなどを利用して、もっと生活を豊かにしてもらう。		
期 間	令和6年11月15日（金）	午前・午後	回数 2回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室2		
事業内容	iPhone や android を使用して、携帯の便利な機能を知ることができる。		
事業参加者への配慮等	- スマホを所有しているかどうかの有無に関わらず、貸し出しの機器を準備することで、誰でも参加できるようにした。 - 講座内容だけではなく、分からないことは幅広く聞けるようにと、講師との対面での講習会にした。 - スマホを持っていない高齢者にスマホの便利さを知ってもらい、活用してもらえよう促した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	- 最初は何を聞いたら良いかわからないという参加者もいたが、講座がすすむにつれ積極的に質問している参加者が多かった。 - 便利さをわかっていただけた様子だった。		
備 考	- 講師が人気のスタッフだったようで、顔見知りの参加者が多かったようだ。今まで何度も説明を受けている印象。嬉しそうに参加している方が多かった。 - 講師も講座があることで「お店ではゆっくり説明できないことも、ここではできる」と嬉しそうに説明していた。		

事業名	アロマdeつくろ カレンデュラオイルでつくるハンドクリーム			
対 象	市内在住・在勤・在学の方			
参加人数	7人			
事業の課題と目標	事業の課題と目標 ・季節に合った内容の講座設定。 ・少人数の講座に設定し、満足度を高めるよう努める。 ・なんとなく軽い気持ちで講座に来た方にコミブラを気に入ってもらい、今後の利用に繋げる。			
目 標	・コミブラの周知や利用促進、活性化に繋げる事。 ・SDGsを意識した生活をしてもらえるような講座作りを目指す。 ・地域の交流の場となる。			
期 間	令和6年12月15日（日）	回 数	1回	
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室			
事業内容	カレンデュラオイルというポットマリーゴールドの浸出油を利用して、ハンドクリームを作製する。			
事業参加者への配慮等	・今までには講座時間を1時間とってゆっくり講座を行っていたが、30分としたことで「気軽に出来る」講座となり、男性の参加があった。 ・少人数制にすることで質問しやすい環境づくりを心掛けた。 ・誰でも手に入るような材料だが、作るのに時間が掛かるような基材を使用し作製してもらった。			
事業の成果（課題や目標に対して）	・作品を作製するだけではなく、アロマオイルやハーブのお話をする機会があり、香りを楽しんでもらうだけでなく、参加者同士もコミュニケーションを取ることがあった。30分と短い講座ではあったが、充実した講座になった。			
備 考	・キャンセル待ち1人。定員は6人だったが参加してもらえよう材料などを追加で準備して、最終的には参加していただいた。			

事業名	書初め教室		
対 象	市内在住の小中学生		
参加人数	10人		
事業の課題と目標	課題 ・小中学生の冬休みの課題である書初めを手伝う。 ・地域のお年寄りが活躍する場を作る。 目標 ・小中学生とシニアの世代間交流の場となる。 ・書初め教室を通じて、子どもたちの居場所にもなるコミプラのような場所があることを知ってもらう。		
期 間	令和7年1月5日（日）	回 数	2回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室		
事業内容	小中学生の冬休みの課題の書道を手伝う。		
事業参加者への配慮等	・事前準備品などについて、受付時に説明した。忘れ物をしないように事前に案内することで、忘れ物や準備不足で迅速に講座自体に取り掛かれないことを防ぐことができた。 ・学年を分けて2部制にすることで、講師が指導しやすい環境作りを行った。 ・参加人数を前回より少なくすることで、一人一人への対応を丁寧にした。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・参加人数を少なく設定したことで、参加者の子供たち全員に丁寧に教えることができた。満足いく作品が書けた子が多かった。 ・シニアの方との交流の場となった。子ども達もシニア世代の先生に丁寧に教えてもらうことができて参加者の満足度が高かった。		
備 考			

事業名	コミブラ冬のもちまつり		
対象	一般		
参加人数	延べ800人		
事業の課題と目標 課題	事業の課題と目標 ・自治会への出店協力依頼。 ・地域活動団体への参加協力依頼。 ・地域で積極的に活動しているお店への出店依頼。 目標 ・地域交流場としてイベントを行う。 ・団体と団体とのつながりを強化する事。 ・地域交流の場として自身も気軽にコミブラを利用できることを知ってもらう。		
期 間	令和7年1月19日（日）	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 全館		
事業内容	全世代参加が可能な集客効果のあるもちつき体験できるイベントの開催。 地元のお店やキッチンカー、さらに自治会にも声をかけた。団体と団体が繋がる交流の場となった。		
事業参加者への配慮等	・全世代参加可能なイベントの開催。 ・地元で頑張っているお店やキッチンカーを呼んだ。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・予想以上の人数が来館。近隣の方々にコミブラが交流の場所として定着してきている。 ・出店頂いたお店も大勢の方へ周知することができ、お店の方にも大変喜ばれた。 ・お店の方同士や自治会同士もコミュニケーションを取っている姿を見ることがあった。		
備考	・今回来ていただいた焼き芋屋さんだが、参加者から「このお店がきている！」と歓喜の声を聞くことが多かった。焼き芋屋さんとは最近 SNS で人気が出てきているお店である。ただ、お店が開いている日にちが限定的でなかなかお店に行けない方も多かったようだ。今回イベント開催が日曜日だったため、交渉したことで、コミブラで出店して頂くことが可能となった。地域住民の方に喜んで頂けて本当に良かったと思う。		

事業名	サークル応援団～レッツファンさん～		
対象	医師からの運動制限がない人で、市内在住・在勤者優先		
参加人数	11人		
事業の課題と目標 課題	事業の課題と目標 ・サークルメンバー募集のお手伝い。 ・サークルの周知活動。 ・体験会の開催。 ・バランスボール体操について知ってもらう。 目標 ・バランスボールサークルに継続可能な活動をしてもらうこと。		
期 間	令和7年1月20日（月）	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 会議室		
事業内容	バランスボールサークルの体験会。		
事業参加者への配慮等	・医療用バランスボールの貸出。 ・講座が始まる前は部屋がかなり寒かったため暖かくしたが、講座が始まると汗をかくている人も増えてきたため、講座の内容を見ながら空調を何度も調整した。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・体験会を通じて加入した方が6人いた。 ・他館でバランスボールをしたことがあったが、サークル化しなかったようで残念がっていた市民の方が、今回の講座を通じてコミブラのサークルに加入。とても喜んでおられた。		
備考	・周知 POP を作成したがシニアの方から字が見づらいとのことのご意見あり。今後は作成する際の色味や書式などにも留意したい。		

事業名	発酵あんこ de ばらっばまんじゅう		
対象	白井市在住・在勤者 優先		
参加人数	18人（うち子ども2人）		
事業の課題と目標 課題	・プロの方からばらっばまんじゅうの作り方を学ぶ。 ・発酵あんこという珍しいあんこを使用する。 ・町おこしになるような講座の設定。		
目標	・白井市のソウルフードである、ばらっばまんじゅうを多くの人に知っていただく。 ・ソウルフードを作ることを通じて、幅広い世代の参加者同士でコミュニケーションを取ってもらおう。		
期 間	令和7年2月9日（日）	回 数	1回
場 所	西白井コミュニティプラザ 調理室		
事業内容	ソウルフードのばらっばまんじゅうを発酵あんこで調理する。		
事業参加者への配慮等	・プロの手際の良さや作り方を実際の目で見てもらい、肌で感じてもらえるようにした。 ・普段もらえないプロのレシピの配布。 ・sketch 倶楽部に在籍されている茶道の先生のお抹茶と一緒に召し上がってもらった。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・子どもからシニアまでが一緒に becoming 仲間になって同じものを調理し、世代交流の場となった。		
備 考			

白井市公民館 年表

年 月	内 容
昭和40年 4月	旧役場を改装し「白井町公民館」誕生
昭和52年11月	白井町公民館を改築
昭和57年 1月	旧役場を「白井町中央公民館」に改装し、既に使用していた中央公民館を「中央公民館別館」とした
昭和57年 6月	西白井複合センター内に「西白井公民館」を開館
昭和61年 4月	白井駅前センター内に「白井駅前公民館」を開館
平成元年 6月	福祉センター内に「青少年婦人センター」を開館
平成 2年 5月	学習等供用施設(通称:富士センター)を開館
平成 5年 5月	公民センター内に「勤労青少年ホーム」を開館
平成 6年 4月	桜台センター内に「桜台公民館」を開館
平成 9年 6月	中央公民館別館にヤングハートを開設
平成13年 4月	「白井市」誕生 (人口50,430人)
平成14年10月	健康センターを改装し「中央公民館」を移転
平成14年11月	中央公民館2階にヤングハートを移転
平成16年 4月	社会教育関係団体に対して、全額減免から半額減免の使用料の見直しを行う。
平成16年 5月	中央公民館・公民センターの休館日を「月曜日」から「日曜日」へ変更
平成18年 4月	公民館使用料を一律1.5倍に見直す。
平成18年 9月	青少年婦人センター運営が指定管理者へ移行 青少年婦人センターを「青少年女性センター」に名称変更
平成19年12月	公共施設予約サービスを開始 (公民館施設をインターネットで予約可能にしたシステム導入)
平成20年 4月	公民センターの運営が指定管理者へ移行 勤労青少年ホーム施設使用料金の減額変更
平成21年 4月	白井駅前センターの運営が指定管理者へ移行 白井駅前公民館施設使用料金の減額変更
平成22年 4月	西白井複合センター・桜台センターの運営が指定管理者へ移行
平成22年3月末	中央公民館・別館閉館 (施設の所管を学校教育課へ移行)
平成23年 6月	市内で初めてのコミュニティセンター「白井コミュニティセンター」が元中央公民館跡地に開館(運営は指定管理者へ委託)
平成25年 4月	学習等供用施設(通称:富士センター)の事業運営を地区運営協議会へ委託
平成26年 4月	公民センターがコミュニティ施設へ 「勤労青少年ホーム」が閉館
平成29年 4月	学習等供用施設(通称:富士センター)が指定管理者へ、公民センターが市直営へ移行
平成30年 4月	市全体で使用料について見直し、使用料は全額受益者負担にすることとなる。公民館使用料については夜間料金の廃止を決定。使用料金の見直しを行い、値上げとなる。
令和元年10月	西白井コミュニティプラザが開館(運営は指定管理者へ委託)
令和7年 4月	公民センターが指定管理者へ移行